



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社
コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,264	△3.8	642	△8.5	595	△21.0	359	△20.8
24年3月期第1四半期	8,593	5.1	701	55.9	754	68.6	454	73.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 428百万円 (△20.8%) 24年3月期第1四半期 541百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	18.33	—
24年3月期第1四半期	23.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	35,541	28,062	77.4
24年3月期	35,313	27,884	77.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 27,517百万円 24年3月期 27,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,100	0.1	850	△32.0	900	△27.9	500	△31.8	25.50
通期	34,200	1.9	1,700	△26.7	1,800	△25.7	1,000	△22.9	51.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) Taiyo GmbH
開封香麦士食品有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	23,513,701 株	24年3月期	23,513,701 株
25年3月期1Q	3,908,989 株	24年3月期	3,858,945 株
25年3月期1Q	19,638,257 株	24年3月期1Q	19,655,058 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの回復基調が継続するものの、通貨不安による円高の長期化や、株安、電力料金値上げ、消費税増税の動きなど経済の先行き不安な状況が続いております。

食品業界におきましては、市場規模に拡大が見られない中、食の安全・安心に対する関心が一層高まるとともに、厳しい雇用環境や所得環境にともなう低価格志向・節約志向や企業間の激しい価格競争によりデフレ状況が続いております。加えて、食品原料の海外農産物の市場価格が高い水準にあるなど、依然として厳しい経営環境となっております。

このような経済環境の中で当社グループは、引き続き、対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は82億64百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。営業利益は6億42百万円（前年同四半期比8.5%減）、経常利益は5億95百万円（前年同四半期比21.0%減）、四半期純利益は3億59百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

①ニュートリション事業

水溶性食物繊維は、国内市場及び欧米市場の医療用途が堅調に推移いたしました。アジア市場の乳製品用途は低調な動きとなりました。

緑茶抽出物は、国内市場でのサプリメント用途の新規採用や、欧米市場でのサプリメント用途が好調な動きとなりました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場の飲料用途、米国市場の飲料・サプリメント用途が好調な動きとなりました。

ミネラル製剤は、国内市場での乳製品用途やサプリメント用途がやや低調な動きとなりましたが、欧米市場でのサプリメント用途は好調に推移し、ビタミン製剤は、国内市場の美容・健康食品用途で堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は12億54百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は1億25百万円（前年同四半期比29.0%増）となりました。

②インターフェイスソリューション事業

乳化剤は、樹脂用等の工業用乳化剤は堅調な動きとなりましたが、化粧品・トイレタリー用乳化剤や一般食品用乳化剤は低調な動きとなり、全体的に低調に推移いたしました。

飲料用素材は、乳化食品は堅調な動きとなりましたが、乳化安定剤や乳化・可溶性製剤は低調な動きとなりました。

安定剤は、冷菓用途及び医療食用途が好調な動きとなりましたが、惣菜用途は低調な動きとなりました。

この結果、売上高は28億32百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業利益は3億67百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

③アグリフード事業

鶏卵加工品は、粉末卵が堅調な動きを示しましたが、液卵加工品は昨年の東日本大震災直後の動きと比較し低い水準となりました。

即席食品用素材は、東日本大震災対応のあった昨年に比較して低調な動きとなりました。

フルーツ加工品は、冷菓・ヨーグルト・パン用途ともに好調な動きとなりました。

クレープ製品（薄焼き卵）は、冷菓用途が好調な動きとなりました。

この結果、売上高は41億50百万円（前年同四半期比5.0%減）、営業利益は1億46百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。

④その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は26百万円（前年同四半期比33.3%増）、営業利益は2百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して2億27百万円増加して、355億41百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加2億75百万円、商品及び製品の増加1億88百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億73百万円、有形固定資産の増加1億73百万円、現金及び預金の減少5億15百万円です。

負債は前連結会計年度末に比較して49百万円増加して74億78百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加3億81百万円、未払法人税等の減少3億86百万円、賞与引当金の減少1億38百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して1億78百万円増加して280億62百万円となりました。これは主に、当四半期純利益3億59百万円の計上、及び配当金支払2億35百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.6%から77.4%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、Taiyo GmbH・開封香麦士食品有限公司2社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,221,771	3,706,373
受取手形及び売掛金	9,296,086	9,571,493
商品及び製品	2,395,426	2,584,007
仕掛品	403,790	429,578
原材料及び貯蔵品	1,846,200	2,019,514
その他	755,847	829,144
貸倒引当金	△63,760	△63,516
流動資産合計	18,855,363	19,076,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,645,114	5,579,856
土地	6,016,989	6,018,730
その他（純額）	2,443,470	2,680,799
有形固定資産合計	14,105,574	14,279,385
無形固定資産		
のれん	110,139	106,075
その他	322,635	322,854
無形固定資産合計	432,774	428,929
投資その他の資産		
投資有価証券	1,609,872	1,535,689
その他	350,750	260,684
貸倒引当金	△40,818	△39,966
投資その他の資産合計	1,919,805	1,756,407
固定資産合計	16,458,154	16,464,722
資産合計	35,313,517	35,541,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,678,227	5,059,418
短期借入金	282,933	315,784
未払法人税等	630,670	244,199
賞与引当金	232,053	93,788
その他	1,099,060	1,224,183
流動負債合計	6,922,944	6,937,374
固定負債		
長期借入金	8,325	13,486
退職給付引当金	21,509	30,361
役員退職慰労引当金	318,685	318,685
その他	157,465	178,788
固定負債合計	505,984	541,321
負債合計	7,428,929	7,478,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,704	7,918,704
利益剰余金	15,512,132	15,641,314
自己株式	△3,486,913	△3,517,690
株主資本合計	27,674,545	27,772,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,030	8,308
繰延ヘッジ損益	5,271	167
為替換算調整勘定	△325,254	△263,491
その他の包括利益累計額合計	△258,951	△255,015
少数株主持分	468,994	544,688
純資産合計	27,884,588	28,062,622
負債純資産合計	35,313,517	35,541,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
売上高	8,593,326	8,264,290
売上原価	6,538,448	6,316,763
売上総利益	2,054,878	1,947,526
販売費及び一般管理費	1,353,337	1,305,382
営業利益	701,540	642,144
営業外収益		
受取利息	2,243	2,668
受取配当金	15,815	15,636
持分法による投資利益	20,022	4,371
為替差益	7,030	—
助成金収入	12,848	5,206
その他	12,998	14,713
営業外収益合計	70,959	42,597
営業外費用		
支払利息	10,832	13,038
貸与資産減価償却費	5,067	4,071
為替差損	—	69,252
その他	2,418	2,799
営業外費用合計	18,319	89,162
経常利益	754,180	595,580
特別損失		
固定資産除売却損	1,268	567
特別損失合計	1,268	567
税金等調整前四半期純利益	752,911	595,012
法人税等	264,618	217,845
少数株主損益調整前四半期純利益	488,292	377,167
少数株主利益	33,779	17,238
四半期純利益	454,513	359,928

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	488,292	377,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,909	△52,919
繰延ヘッジ損益	△6,483	—
為替換算調整勘定	67,729	109,389
持分法適用会社に対する持分相当額	12,911	△4,907
その他の包括利益合計	53,248	51,562
四半期包括利益	541,541	428,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,416	363,864
少数株主に係る四半期包括利益	54,125	64,866

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,195,220	3,007,509	4,370,649	8,573,379	19,947	8,593,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,195,220	3,007,509	4,370,649	8,573,379	19,947	8,593,326
セグメント利益	97,045	436,047	164,459	697,552	3,988	701,540

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,254,584	2,832,973	4,150,144	8,237,701	26,589	8,264,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,254,584	2,832,973	4,150,144	8,237,701	26,589	8,264,290
セグメント利益	125,205	367,516	146,944	639,666	2,477	642,144

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。